

さまざまな表現技法

1
比
喩

物事を、他のものにたとえて表現する方法。

① 直
喩

「まるで」「～ようだ」「～みたいだ」などの、
直接たとえる言葉を使う。

まるでもみじのようにかわいい手

② 隠
喩

「まるで」「～ようだ」「～みたいだ」などの
たとえる言葉を使わない。

もみじの手

2
擬
人

人でないものを人にたとえる方法。

風が歌っているよ。

3
反
復

同じ言葉を繰り返す方法。

4
倒
置

言葉の順序を入れ替え、文末を先に述べる方法。

火事だ、むこうが。

5
対
句

似ている言葉・反対の意味の言葉などを対応するように
並べる方法。リズムは同じ。

空に 星
地に 花
人に 愛

（パターンが同じ）

6
体
言
止
め

文末を体言（名詞…ものの名）で結ぶ方法。

ゆく秋の 大和の国の 薬師寺の 塔の上なる ひとひらの雲